

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 8 月 3 日 (2017.8.3)

【公開番号】特開 2016-179346 (P2016-179346A)
 【公開日】平成 28 年 10 月 13 日 (2016.10.13)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-059
 【出願番号】特願 2016-141352 (P2016-141352)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 20 日 (2017.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筒状部及び当該筒状部の一端側に形成された操作部を有し、配設対象から前記筒状部の一部及び前記操作部が突出した状態となるように配設され、遊技者により前記操作部が押圧操作されることにより所定方向に変位可能に設けられた操作手段と、

前記配設対象に設けられ、前記操作手段において前記配設対象から突出していない部分を視認不可となるように遮蔽する配設対象側遮蔽部と、

特定状況となった場合に、前記配設対象からの突出量が増えるようにして前記操作手段を前記所定方向とは反対側に移動させる操作量変更手段とを備え、

前記筒状部は、前記操作量変更手段によって前記操作手段が移動することにより前記配設対象から突出する部分の少なくとも一部を通じて同操作手段の内部領域が視認可能となるように構成されており、

前記操作手段において前記操作量変更手段により突出量が増加した場合に視認可能となる特定領域にて表示演出を実行する表示演出手段を備え、

前記操作手段には、少なくとも前記操作量変更手段による前記操作手段の前記移動が行われていない状況下において、前記一端側からの前記特定領域の視認が困難又は不可となるように遮蔽する操作手段側遮蔽部が設けられていることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

パチンコ機である請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

本発明は、

筒状部及び当該筒状部の一端側に形成された操作部を有し、配設対象から前記筒状部の一部及び前記操作部が突出した状態となるように配設され、遊技者により前記操作部が押圧操作されることにより所定方向に変位可能に設けられた操作手段と、

前記配設対象に設けられ、前記操作手段において前記配設対象から突出していない部分を視認不可となるように遮蔽する配設対象側遮蔽部と、

特定状況となった場合に、前記配設対象からの突出量が増えるようにして前記操作手段を前記所定方向とは反対側に移動させる操作量変更手段とを備え、

前記筒状部は、前記操作量変更手段によって前記操作手段が移動することにより前記配設対象から突出する部分の少なくとも一部を通じて同操作手段の内部領域が視認可能となるように構成されており、

前記操作手段において前記操作量変更手段により突出量が増加した場合に視認可能となる特定領域にて表示演出を実行する表示演出手段を備え、

前記操作手段には、少なくとも前記操作量変更手段による前記操作手段の前記移動が行われていない状況下において、前記一端側からの前記特定領域の視認が困難又は不可となるように遮蔽する操作手段側遮蔽部が設けられていることを特徴とする。